

稲荷木・田尻・鬼高地区の7月の調査結果のお知らせ

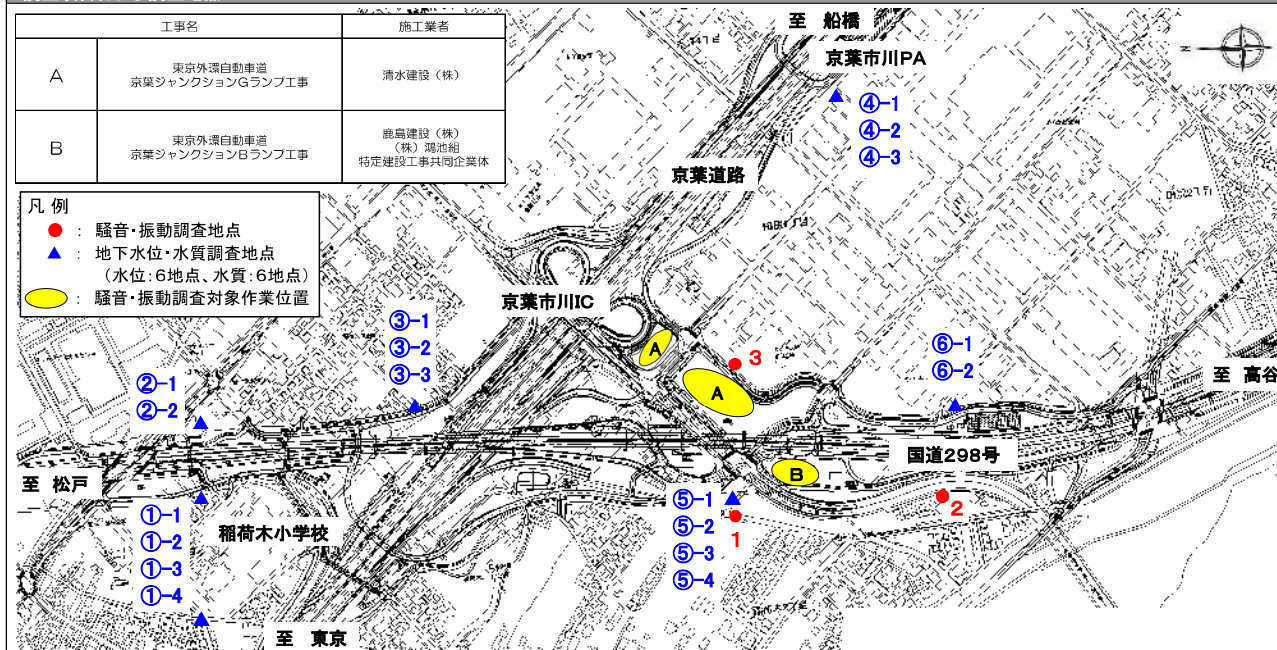
平素は、東日本高速道路路側の外環事業にご理解・ご協力いただき誠にありがとうございます。
 東日本高速道路路側千葉工事事務所では地域の生活環境の保全に努めつつ外環事業に取り組むために、騒音・振動調査、
 地下水位及び地下水質についての調査を毎月実施しております。

■連絡先：東日本高速道路路側
 千葉工事事務所 技術課
 TEL:043-350-3342

1.調査項目および調査地点

工事名	施工業者
A 東京外環自動車道 京葉ジャンクションGランプ工事	清水建設(株)
B 東京外環自動車道 京葉ジャンクションBランプ工事	鹿島建設(株) (株) 瑞穂組 特定建設工事共同企業体

- 凡例
- 騒音・振動調査地点
 - ▲ 地下水位・水質調査地点
(水位:6地点、水質:6地点)
 - 騒音・振動調査対象作業位置



2.騒音・振動調査結果

騒音レベル L_{A5} および振動レベル L_{10} を下の表に示します。

○法律による規制基準を満足しています。

調査地点	付近の工事内容	騒音レベル L_{A5} (dB)	振動レベル L_{10} (dB)	調査日
1	京葉ジャンクション Bランプ工事	56	36	7月10日 (昼間(8時~17時))
2	京葉ジャンクション Bランプ工事	64	45	7月10日 (昼間(8時~17時))
3	京葉ジャンクション Gランプ工事	62	47	7月10日 (昼間(8時~17時))
法律による規制基準		特定建設作業に伴って 発生する騒音の規制に 関する基準	特定建設作業に伴って 発生する振動の規制に 関する基準	
		85	75	

解説

●騒音レベル L_{A5}

騒音の大きさを騒音レベルといひ、dB(デシベル)という単位で表します。騒音レベルをある時間測定したとき、全測定値の大きい方から5%目の値を L_{A5} と表します。これは、「特定建設作業に伴って発生する騒音の規制に関する基準」に示された規制基準と比較する値です。

●振動レベル L_{10}

騒音と同様に、振動レベルをある時間測定したとき、全測定値の大きい方から10%目の値を L_{10} と表します。これは、「振動規制法施行規則」に示された規制基準と比較する値です。

3.地下水質調査結果(採水日:R5年7月26日、27日、28日)

地下水質調査結果を下の表に示します。

毎月調査している項目として、pHおよび六価クロムがあります。

○pHおよび六価クロムに異常はありません。

調査地点	①						②			③		
	①-1	①-2	①-3	①-4	②-1	②-2	③-1	③-2	③-3			
pH	7.6	7.9	8.0	8.0	8.1	8.1	7.6	7.7	8.1			
六価クロム(mg/L)	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満			
調査地点	④			⑤			⑥					
	④-1	④-2	④-3	⑤-1	⑤-2	⑤-3	⑥-1	⑥-2	⑥-3			
pH	7.7	8.1	8.0	7.1	7.6	8.1	8.1	7.6	7.7			
六価クロム(mg/L)	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満			

解説

●pH(水素イオン濃度)

地盤改良等に使用するセメント系固着剤は強アルカリ性を示すため、地下水中にセメントが混入した場合、pHがアルカリ性に傾くおそれがあることから測定を行っております。pHについては地下水における環境基準は定められていません。なお、pH=7が中性であることを表しております。

●六価クロム

地盤改良等に使用するセメント系固着剤は、条件によっては地下水に六価クロムとして溶出するおそれがあることから測定を行っております。六価クロムの地下水における環境基準は0.02mg/リットル以下とされています。また、「0.005未満」とは、当該試験において六価クロムを定量できる最も小さい値を下回っていることをいいます。

4.地下水位調査結果

地下水位の調査結果を下の表に示します。

○地下水位の低下が一部で確認されました。
 引き続き注視していきます。

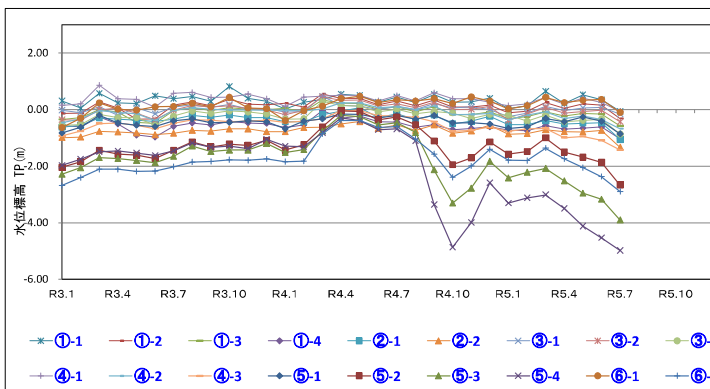
単位: T.P.m

調査地点	①			②			③			
	①-1	①-2	①-3	②-1	②-2	③-1	③-2	③-3		
R5	5月	0.520	0.210	-0.140	-0.650	-0.480	-0.790	0.080	-0.070	-0.380
	6月	0.350	0.160	-0.160	-0.610	-0.460	-0.730	0.080	-0.020	-0.340
	7月	-0.060	-0.310	-0.580	-1.030	-1.060	-1.330	-1.160	-0.430	-0.870
調査地点	④			⑤			⑥			
	④-1	④-2	④-3	⑤-1	⑤-2	⑤-3	⑥-1	⑥-2		
R5	5月	0.410	-0.230	-0.950	-0.260	-1.660	-2.950	-4.120	0.330	-2.050
	6月	0.250	-0.350	-1.090	-0.410	-1.860	-3.170	-4.530	0.360	-2.370
	7月	-0.050	-0.670	-1.420	-0.660	-2.670	-3.900	-4.980	-0.100	-2.890

解説

●T.P.m

東京湾の海面の平均高さを0として、標高を表す時に用いる単位です。



稲荷木・田尻・鬼高地区の8月の調査結果のお知らせ

平素は、東日本高速道路㈱の外環事業にご理解・ご協力いただき誠にありがとうございます。
 東日本高速道路㈱千葉工事事務所では地域の生活環境の保全に努めつつ外環事業に取り組むために、騒音・振動調査、地下水及び地下水質についての調査を毎月実施しております。

■連絡先：東日本高速道路㈱
 千葉工事事務所 技術課
 TEL:043-350-3342

1.調査項目および調査地点

工事名	施工業者
A 東京外環自動車道 京葉ジャンクションGランプ工事	清水建設(株)
B 東京外環自動車道 京葉ジャンクションBランプ工事	鹿島建設(株) (株)瑞穂館 特定建設工事共同企業体

凡例

- ：騒音・振動調査地点
- ▲：地下水位・水質調査地点
(水位:6地点、水質:6地点)
- ：騒音・振動調査対象作業位置

2.騒音・振動調査結果

騒音レベル L_{A5} および振動レベル L_{10} を下の表に示します。
○法律による規制基準を満足しています。

調査地点	付近の工事内容	騒音レベル L_{A5} (dB)	振動レベル L_{10} (dB)	調査日
1	京葉ジャンクション Bランプ工事	57	35	8月8日 昼間(8時~17時)
2	京葉ジャンクション Bランプ工事	65	45	8月8日 昼間(8時~17時)
3	京葉ジャンクション Gランプ工事	61	45	8月8日 昼間(8時~17時)
法律による規制基準		特定建設作業に伴って発生する騒音の規制に関する基準	特定建設作業に伴って発生する振動の規制に関する基準	
		85	75	

解説

- 騒音レベル L_{A5}
騒音の大きさを騒音レベルといい、dB(デシベル)という単位で表します。騒音レベルをある時間測定したとき、全測定値の大きい方から5%の値を L_{A5} と表します。これは、「特定建設作業に伴って発生する騒音の規制に関する基準」に示された規制基準と比較する値です。
- 振動レベル L_{10}
騒音と同様に、振動レベルをある時間測定したとき、全測定値の大きい方から10%の値を L_{10} と表します。これは、「振動規制法施行規則」に示された規制基準と比較する値です。

3.地下水質調査結果(採水日:R5年8月23日、24日、25日)

地下水質調査結果を下の表に示します。
 毎月調査している項目として、pHおよび六価クロムがあります。
○pHおよび六価クロムに異常はありません。

調査地点	①			②		③		
	①-1	①-2	①-3	②-1	②-2	③-1	③-2	③-3
pH	7.4	8.1	8.1	8.0	8.1	8.2	7.7	7.5
六価クロム(mg/L)	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満
調査地点	④			⑤		⑥		
	④-1	④-2	④-3	⑤-1	⑤-2	⑤-3	⑥-1	⑥-2
pH	7.6	8.1	8.0	7.0	7.7	8.1	8.1	7.6
六価クロム(mg/L)	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満

解説

- pH(水素イオン濃度)
地盤改良等に使用するセメント系固着剤は強アルカリ性を示すため、地下水中にセメントが混入した場合、pHがアルカリ性に傾くおそれがあることから測定を行っております。pHについては地下水における環境基準は定められていません。なお、pH=7が中性であることを表しております。
- 六価クロム
地盤改良等に使用するセメント系固着剤は、条件によっては地下水に六価クロムとして溶出するおそれがあることから測定を行っております。六価クロムの地下水における環境基準は0.02mg/リットル以下とされています。また、「0.005未満」とは、当該試験において六価クロムを定量できる最も小さい値を下回っていることをいいます。

4.地下水位調査結果

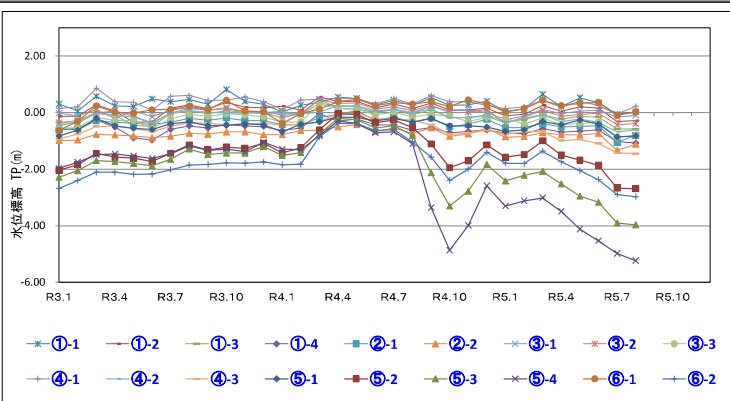
地下水位の調査結果を下の表に示します。
○地下水位の低下が一部で確認されました。引き続き注視していきます。

単位: T.P.m

調査地点	①			②			③		
	①-1	①-2	①-3	②-1	②-2	③-1	③-2	③-3	
R5	6月	0.350	0.160	-0.160	-0.610	-0.460	-0.730	0.080	-0.020
	7月	-0.060	-0.310	-0.580	-1.030	-1.060	-1.330	-0.160	-0.430
	8月	0.020	-0.280	-0.580	-1.080	-0.810	-1.120	-0.100	-0.390
調査地点	④			⑤			⑥		
	④-1	④-2	④-3	⑤-1	⑤-2	⑤-3	⑥-1	⑥-2	
R5	6月	0.250	-0.350	-1.090	-0.410	-1.860	-3.170	-4.530	0.360
	7月	-0.050	-0.670	-1.420	-0.880	-2.670	-3.900	-4.980	-0.100
	8月	0.230	-0.610	-1.450	-0.830	-2.690	-3.970	-5.230	0.030

解説

- T.P.m
東京湾の海面の平均高さを0として、標高を表す時に用いる単位です。

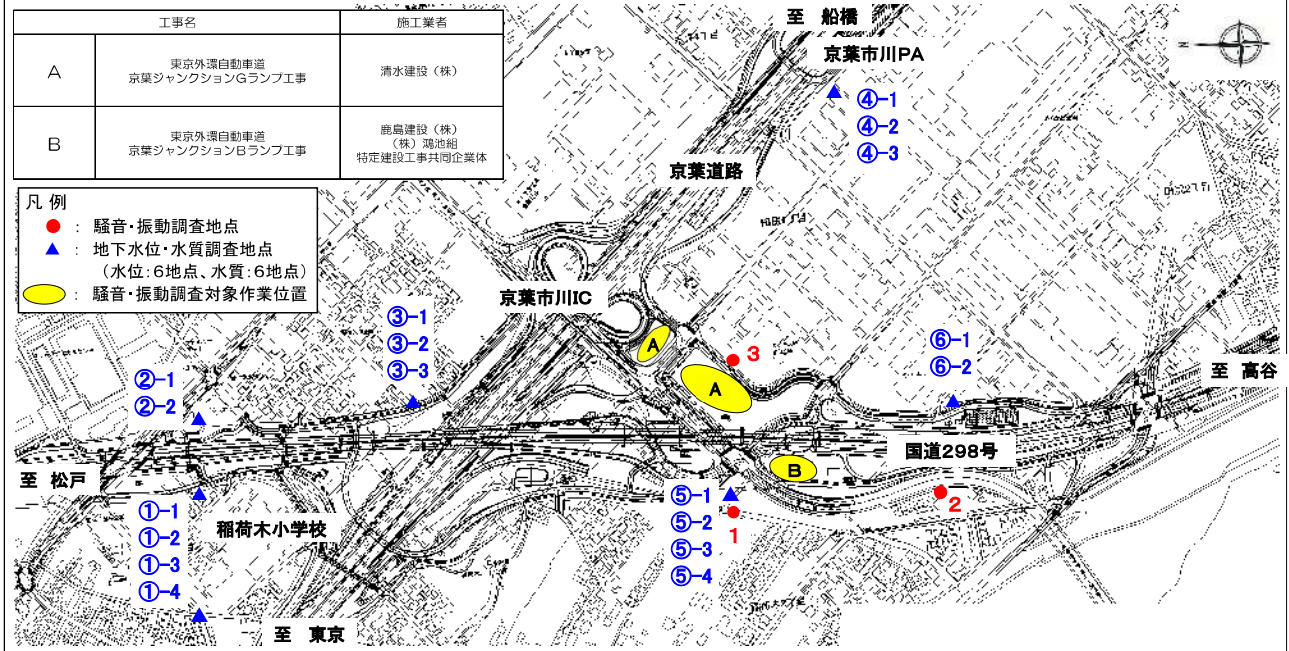


稲荷木・田尻・鬼高地区の9月の調査結果のお知らせ

平素は、東日本高速道路㈱の外環事業にご理解・ご協力いただき誠にありがとうございます。
 東日本高速道路㈱千葉工事事務所では地域の生活環境の保全に努めつつ外環事業に取り組むために、騒音・振動調査、地下水及び地下水質についての調査を毎月実施しております。

■連絡先：東日本高速道路㈱
 千葉工事事務所 技術課
 TEL:043-350-3342

1.調査項目および調査地点



1.騒音・振動調査結果

騒音レベル L_{A5} および振動レベル L_{10} を下の表に示します。
○法律による規制基準を満足しています。

調査地点	付近の工事内容	騒音レベル L_{A5} (dB)	振動レベル L_{10} (dB)	調査日
1	京葉ジャンクションBランプ工事	56	36	9月12日 昼間(8時~17時)
2	京葉ジャンクションBランプ工事	65	44	9月12日 昼間(8時~17時)
3	京葉ジャンクションGランプ工事	61	45	9月12日 昼間(8時~17時)
	法律による規制基準	特定建設作業に伴って発生する騒音の規制に関する基準	特定建設作業に伴って発生する振動の規制に関する基準	
		85	75	

解説

- 騒音レベル L_{A5}
 騒音の大きさを騒音レベルといい、dB(デシベル)という単位で表します。騒音レベルをある時間測定したとき、全測定値の大きい方から5%目の値を L_{A5} と表します。これは、「特定建設作業に伴って発生する騒音の規制に関する基準」に示された規制基準と比較する値です。
- 振動レベル L_{10}
 騒音と同様に、振動レベルをある時間測定したとき、全測定値の大きい方から10%目の値を L_{10} と表します。これは、「振動規制法施行規則」に示された規制基準と比較する値です。

2.地下水質調査結果(採水日:R5年9月27日、28日、29日)

地下水質調査結果を下の表に示します。
 毎月調査している項目として、pHおよび六価クロムがあります。
○pHおよび六価クロムに異常はありません。

調査地点	①			②			③		
	①-1	①-2	①-3	①-4	②-1	②-2	③-1	③-2	③-3
pH	7.5	8.0	8.2	8.1	8.2	8.2	7.9	8.0	8.2
六価クロム(mg/L)	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満
調査地点	④			⑤			⑥		
	④-1	④-2	④-3	⑤-1	⑤-2	⑤-3	⑥-1	⑥-2	⑥-3
pH	7.9	8.2	8.2	7.3	7.9	8.1	8.2	7.8	7.9
六価クロム(mg/L)	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満

解説

- pH(水素イオン濃度)
 地盤改良等に使用するセメント系固化工剤は強アルカリ性を示すため、地下水中にセメントが混入した場合、pHがアルカリ性に傾くおそれがあることから測定を行っております。pHについては地下水における環境基準は定められていません。なお、pH=7が中性であることを表しております。
- 六価クロム
 地盤改良等に使用するセメント系固化工剤は、条件によっては地下水に六価クロムとして溶出するおそれがあることから測定を行っております。六価クロムの地下水における環境基準は0.02mg/リットル以下とされています。また、「0.005未満」とは、当該試料において六価クロムを定量できる最も小さい値を下回っていることをいいます。

3.地下水調査結果

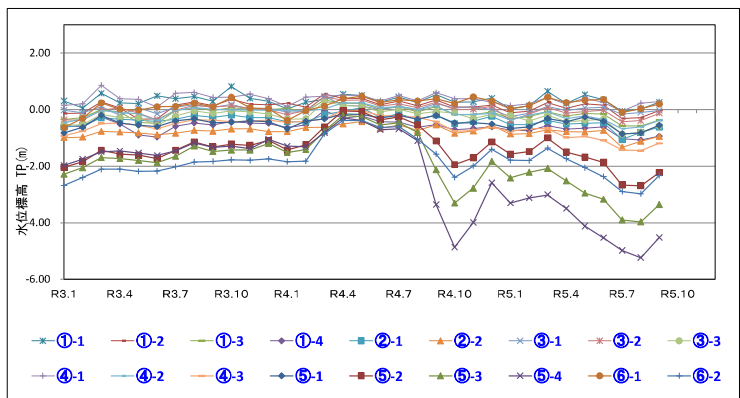
地下水位の調査結果を下の表に示します。
○地下水位の低下が一部で確認されました。引き続き注視していきます。

単位: T.P.m

調査地点	①			②			③			
	①-1	①-2	①-3	①-4	②-1	②-2	③-1	③-2	③-3	
R5	7月	-0.060	-0.310	-0.580	-1.030	-1.060	-1.330	-0.180	-0.430	-0.870
	8月	0.020	-0.280	-0.580	-1.080	-0.810	-1.120	-0.100	-0.390	-0.800
	9月	0.260	-0.030	-0.370	-0.940	-0.620	-0.950	-0.030	-0.130	-0.570
調査地点	④			⑤			⑥			
	④-1	④-2	④-3	⑤-1	⑤-2	⑤-3	⑥-1	⑥-2	⑥-3	
R5	7月	-0.050	-0.670	-1.420	-0.880	-2.670	-3.900	-4.980	-0.100	-2.890
	8月	0.230	-0.610	-1.450	-0.830	-2.690	-3.970	-5.230	0.030	-2.970
	9月	0.280	-0.390	-1.190	-0.560	-2.220	-3.360	-4.520	0.200	-2.330

解説

- T.P.m
 東京湾の海面の平均高さを0として、標高を表す時に用いる単位です。



稲荷木・田尻・鬼高地区の10月の調査結果のお知らせ

平素は、東日本高速道路路側の外環事業にご理解・ご協力いただき誠にありがとうございます。
 東日本高速道路路側千葉工事事務所では地域の生活環境の保全に努めつつ外環事業に取り組むために、騒音・振動調査、
 地下水位及び地下水質についての調査を毎月実施しております。

■連絡先：東日本高速道路路側
 千葉工事事務所 技術課
 TEL:043-350-3342

1.調査項目および調査地点

工事名	施工業者
A 東京外環自動車道 京葉ジャンクションGランプ工事	清水建設(株)
B 東京外環自動車道 京葉ジャンクションBランプ工事	鹿島建設(株) (株) 瑞穂組 特定建設工事共同企業体

凡例
 ●：騒音・振動調査地点
 ▲：地下水位・水質調査地点
 (水位:6地点、水質:6地点)
 ○：騒音・振動調査対象作業位置

1.騒音・振動調査結果

騒音レベル L_{A5} および振動レベル L_{10} を下の表に示します。

○法律による規制基準を満足しています。

調査地点	付近の工事内容	騒音レベル L_{A5} (dB)	振動レベル L_{10} (dB)	調査日
1	京葉ジャンクション Bランプ工事	56	35	10月30日 昼間(8時~17時)
2	京葉ジャンクション Bランプ工事	65	44	10月30日 昼間(8時~17時)
3	京葉ジャンクション Gランプ工事	62	44	10月30日 昼間(8時~17時)
	法律による規制基準	特定建設作業に伴って発生する騒音の規制に関する基準	特定建設作業に伴って発生する振動の規制に関する基準	
		85	75	

解説

●騒音レベル L_{A5}

騒音の大きさを騒音レベルとい、dB(デシベル)という単位で表します。騒音レベルをある時間測定したとき、全測定値の大きい方から5%目の値を L_{A5} と表します。これは、「特定建設作業に伴って発生する騒音の規制に関する基準」に示された規制基準と比較する値です。

●振動レベル L_{10}

騒音と同様に、振動レベルをある時間測定したとき、全測定値の大きい方から10%目の値を L_{10} と表します。これは、「振動規制法施行規則」に示された規制基準と比較する値です。

2.地下水質調査結果(採水日:R5年10月25日、26日、27日)

地下水質調査結果を下の表に示します。

毎月調査している項目として、pHおよび六価クロムがあります。

○pHおよび六価クロムに異常はありません。

調査地点	①			②			③		
	①-1	①-2	①-3	①-4	②-1	②-2	③-1	③-2	③-3
pH	7.6	8.0	8.2	8.1	8.2	8.2	7.9	7.8	8.2
六価クロム(mg/L)	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満
調査地点	④			⑤			⑥		
	④-1	④-2	④-3	⑤-1	⑤-2	⑤-3	⑥-1	⑥-2	⑥-3
pH	7.9	8.1	8.1	7.4	7.9	8.2	8.2	7.8	8.0
六価クロム(mg/L)	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満

解説

●pH(水素イオン濃度)

地盤改良等に使用するセメント系固化工剤は強アルカリ性を示すため、地下水中にセメントが混入した場合、pHがアルカリ性に傾くおそれがあることから測定を行っております。pHについては地下水における環境基準は定められていません。なお、pH=7が中性であることを表しております。

●六価クロム

地盤改良等に使用するセメント系固化工剤は、条件によっては地下水に六価クロムとして溶出するおそれがあることから測定を行っております。六価クロムの地下水における環境基準は0.02mg/リットル以下とされています。また、「0.005未満」とは、当該試験において六価クロムを定量できる最も小さい値を下回っていることをいいます。

3.地下水位調査結果

地下水位の調査結果を下の表に示します。

○地下水位の低下が一部で確認されました。
 引き続き注視していきます。

単位: T.P.m

調査地点	①			②			③			
	①-1	①-2	①-3	①-4	②-1	②-2	③-1	③-2	③-3	
R5	8月	0.020	-0.280	-0.580	-1.080	-0.810	-1.120	-0.100	-0.390	-0.800
	9月	0.260	-0.030	-0.370	-0.940	-0.620	-0.950	-0.030	-0.130	-0.570
	10月	0.250	0.030	-0.320	-0.870	-0.620	-0.940	-0.030	-0.170	-0.550
調査地点	④			⑤			⑥			
	④-1	④-2	④-3	⑤-1	⑤-2	⑤-3	⑥-1	⑥-2	⑥-3	
R5	8月	0.230	-0.610	-1.450	-0.830	-2.690	-3.970	-5.230	0.030	-2.970
	9月	0.280	-0.390	-1.190	-0.560	-2.220	-3.360	-4.520	0.200	-2.330
	10月	0.260	-0.470	-1.260	-0.580	-2.210	-3.360	-4.590	0.210	-2.440

解説

●T.P.m

東京湾の海面の平均高さを0として、標高を表す時に用いる単位です。

